

校長室だより第 32 号（令和 7 年 11 月 25 日）

この 3 連休を使って、長野に住む親戚に会いに行きました。その一人が母の妹、つまり叔母にあたり、農家を営んでいます。

今は、ちょうどりんごの収穫期。たくさんのりんごが木になっています。皆さんはその様子を見たことがありますか。実は私は今回が初めてです。

ここで問題です。

1 本のりんごの木にはいくつくらいりんごがなっているでしょうか。

A: 1 0 0 個くらい      B: 3 0 0 個くらい      C: 5 0 0 個くらい      D: それ以上

少しだけ考えてみてください。

正解は~~~~~「D」のそれ以上です。それも 1 0 0 0 個に近いほどです

びっくりです。りんごをもいでも、もいでもなくなるほどです。

叔母の家には 3 0 本ほどのりんごの木があるので、単純に計算しても 3 万個近くの一りんごがあるというわけです。

収穫のために、叔母の子どもたち（私の従兄弟に当たる）も家族を連れて畑に集合。大人数で収穫に臨みましたが、まだまだりんごはなくなりません。ちなみに私も少しだけお手伝いをしました。私と妻で合わせて 5 0 0 個くらいもぎました。もちろんりんごはまだまだ残っています。

1 個のりんごを取るのはそれほど難しくはありません。しかし私が、もいだりんごが商品として店頭に並ぶかと思うと、丁寧に、そして慎重な作業となりました。それでも、へた（りんごの軸・頭のとび出ている部分）が取れてしまうことがありました。そうすると、見た目が悪くなるため、商品価値が下がります。そして、叔母に怒られます。（うそです。怒られません。ニコッと笑って許してくれます。）

1 2 月になると雪が降り、りんごがだめになってしまうので、収穫は 1 1 月末までに終わらせなければならないそうです。全部のりんごを収穫するために今日も朝から奮闘している

ことでしょう。

ちょっと付け足し

私は店頭に並ぶ直前の収穫に立ち会いましたが、ここまで育てることがどんなに大変かがわかっていません。以下参考までに年間作業スケジュールを記します。

冬：剪定

春：肥料をまく。薬剤散布。受粉作業。

初夏：実の間引き。袋かけ。

夏：袋はずし。

秋：葉つみ。玉回し。（まんべんなく太陽の光があたるように、実を回すこと）

初冬：収穫

りんごだけでなくすべての農作物が、農家の方の勤労のおかげで生産されています。農家の皆さんありがとうございます。おいしくいただきます。